

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年 9月 28日

和泉市長 あて

団体名 和泉市手をつなぐ親の会

代表者名 南 朋子

所在地 和泉市府中町4-20-4

電話番号 0725-43-7514

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	茶話会
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ 115,000 円 (うち、対象経費 _____ 115,000 円)
支援金 交付申請額	_____ 76,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミシテラツナグオヤノカイ		
団体名	和泉市手をつなぐ親の会		
団体の目的	心身に障がいのある子どもや生きづらさを感じている子どもの親たちが当事者本人の学び・生活・社会参加する権利等、人として当然の権利を擁護し、どんなに障がいが高くても慣れ親しんだ地域で皆と共に生きる社会を目指すノーマライゼーションの理念を市民の方々と共に実現することを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-0071 和泉市府中町4-20-4 【 <u>専用事務所</u> 】・住居と兼用・その他（ ）】		
	電話	0725(43)7514	FAX ()
フリガナ	ミナミ トモコ		
代表者氏名	南 朋子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※	電話	●
	フリガナ・ミナミ トモコ	FAX	同上
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。 ● ●		
設立年月	昭和47年 4月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	<input checked="" type="checkbox"/> (3/年回発行)・無	会員数	160人
メールアドレス	●		
ホームページ	http://izumitewotunagu.com		
主な事業内容	心身障がい児者や生きづらさを感じる子どもをもつ親たちが共通の悩みや課題を共に考え一緒に解決していく場を設けることや地域で普通の生活を送るための支援や提案、情報提供を行う。 バスツアーや二十歳を祝う会など積極的に会独自のイベントの開催を行い障がい児者の社会参加の推進を図る。 また、行政に対しての要望活動や講演会、研修会等の開催。福祉関係団体や地域の他団体との連携を図る。		
主な活動の実績	総会。バスレクリエーション2回開催。様々な分野の茶話会。ペアレントトレーニング。毎月役員会。4ヶ月に1度校区役員会。年に3回会報誌発行。各部会の上部団体会議に出席。教育委員会との懇談会。父親主催のイベント。毎月発達サロン開催。二十歳を祝う会。クリスマスプレゼントの配布。和泉市への要望活動。和泉市障がい者団体連絡協議会会議出席。各関係団体との勉強会や交流会。		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績 (過去3年間の実績を記載)			

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	茶話会
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 現在、様々な分野の茶話会を開催しておりますが、毎回会員ならびに会員外の親御さんの参加もあり、子育ての悩みを皆さんで話し合い交流することで、解決策を見つけたりまた、仲間ができることで孤独感を抱かなくなるなど続けて開催して欲しいとの声が多くあります。 発達障がいなどをもつ障がい児はネグレクトを受けやすいというデータがあります。社会として取り組まなければならない問題です。周囲が気づいてあげることも大切ですが、親も自分自身を知り仲間からえる情報や体験談を聞くことで成長し変わり子どもと正しく向き合う事ができるのです。 また、重度（医療的ケアを含む）の家族は、なかなか自由な時間を作れず常にストレスが溜まっている状態の親御さんが多く皆でワイワイと話せる場がありストレスの発散ができたり、先輩お母さんから、制度やサービスの情報を聞けることで、安心を得ることができています。 今後もこの様なかしこまった場ではなく、誰でも自由に訪れてお話ができる場の提供が必要だと思っています。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 同じ悩みを持つ親同士が集まり、日々の困りごとや悩み事など何でも話せる場を設けることで障がいのある子どもを持つ親がリフレッシュやリラックスでき精神的苦痛や家族和合の欠如の軽減へつながります。 また、親の気持ちに余裕ができれば子どもへの接し方にも変化があり子育て（介護）に苛立ちなどを感じる事がなくなり、子どもはより良い環境で生活することができ豊かな成長へと繋がっていくことが期待されます。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 障がいや生きづらさを抱える子ども達の親が交流できる場として茶話会を開催する。 障がい児者の親は、決まった時間に参加すると子どもの世話等でなかなか参加することが難しい人が大半です。いつ来てもいつ帰ってもいい環境にし、誰でも自由に参加できるようにします。 和泉市内の小学校や中学校また、支援学校に通う和泉市の方にも案内を配布し、時にはテーマや障がい別での開催などを試み、より茶話会の内容が深いものとなるよう開催方法を考えます。 児童期の保護者、成人期の養護者いずれに対してもピアサポートが有効です。同じ思いを持つ家族による支えあいや、繋がりは私たち障がいのある子どもを持つ親には必要です。私たちの会の活動を活用し楽しい時間を感じてもらい日頃の子育ての悩みやストレスを仲間との交流によりリラックスし、家事や子ども達と余裕を持って関わってもらえるように茶話会の場を通して心のサポートをします。</p>	
②実施期間（日時）	令和6年5月から令和7年3月21日（月1～2回）
③実施場所	和泉シティプラザ または、和泉市コミュニティセンター（貸部屋）
④主な対象者	障がいや生きづらさを抱える子どもの親（会員・非会員・支援者など可）
⑤参加予定者数	1回につき10名程度
⑥告知方法	案内チラシやSNS・広報いずみ等

5 事業スケジュール	
次期(月) 5月～3月	内容 毎月1回から2回を障がい別やテーマを分けて開催
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
①公益性	虐待やヤングケアラーなど社会問題となっている現在、この多くは障がい児者が関係しています。 この事業を実施することで、障がいや生きづらさのある子を持つ家族の孤立感やストレスの解消の場を提供、また同じ立場の人同士の交流により情報収集やネットワークづくりの場となり、親だけではなく子どもものびのびと暮らせる子育てのしやすい和泉市になります。
②継続性	毎月開催することでいつでも利用できるという安心感を参加者に与えることができます。内容も上部団体会議に参加して得た情報の共有や参加者が求める疑問解決のための出前講座など、幅広い取り組みをしています。
③実行性	当会は160名ほどの会員に14名の役員で構成されており専門部会を設けそれぞれの障がいに特化した活動をしています。例えば施設見学やレクリエーションなどを通して障がい児者やその家族の支援をしています。この事業もその一環です。主にこの事業は幼児学齢部会が担当し運営をしていきます。その際に必要となる経費は施設使用料や役員の交通費、資料作成にかかる費用になります。
④協働性	身近な地域の中で何でも話せ、困ったときに一緒に動いてくれる相談の窓口がこの事業で担えていると思います。また、日頃より社協のボランティア団体や民生委員、地域のエンゼルハウスにも互いの活動への参加を通して連携を深めながら障がい者への理解や協力関係を築いています。
⑤公開性	当会には、160名ほどの会員がおり様々な障がいの子どもを持つ親がいます。 各校区に役員がおり定期的に会報紙を発行し配布することで見まもりへとつなげています。この事業は市内小、中学校への案内チラシやSNS、広報などを使い多くの同じ悩みをもつ家族支援に繋がりたいと思います。また以前よりホームページ、Instagramなどで多くの情報の発信に努めており、この事業もより多くの人へ発信し呼びかけていきます。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	和泉市はどんどん開発が進み、子どもの数が増えていくことと思われると同時に医療の進歩で重い障がいがあっても在宅で生活している障がい児者やクラスに3人はいると言われる発達障がいのある子どもなど、育てにくさなどに悩んでいる家族はこれからも増えていくことと予想されます。この事業の実施により、弱者をすくい上げることで障がいの有る無しに関わらず誰もが慣れ親しんだ地域で安心安全にいきいきと暮らしていける町へと発展していくことと思います。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 茶話会

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	76,000	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	21,000	団体会計
	18,000	個人負担
合 計	115,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	24,000	駐車場代（100円×24回×10人）
消耗品	41,000	茶話会参加者飲料代（10人×24回×150円＝36,000円） コピー紙 A4 2,000枚（2,000円） インク代（3,000円）
印刷製本費	40,000	各幼保こども園・小中学校と関係機関への案内チラシ（A4 カラー6,000部） 資料コピー代
使用料及び賃借料	10,000	施設利用料 （無料の部屋が使用できなかった場合のみ発生、和泉シティプラザの場合2回3,520円、和泉コミュニティセンターの場合2回10,000円）
合 計	115,000	
対象経費	115,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。